

当院の大腸ステント留置術の安全性 及び術後の下部消化管内視鏡検査の検討 情報公開文書

日本赤十字和歌山医療センターでは、以下にご説明します研究を実施します。この研究への参加を希望されない場合は、研究不参加とさせていただきますので、下記のお問い合わせ先にお申し出ください。またお申し出された場合でも、いかなる不利益を受けることはございませんので、ご安心ください。

研究目的

大腸憩室出血は高齢化に伴い増加しており、併存疾患や抗血栓薬内服患者が多いことが要因の一つである。今後も高齢者大腸憩室出血に対し止血術を施行する機会は増えると思われる、当院の治療成績を評価しその安全性について検討する。

研究期間

2026年1月21日から2029年1月21日（3年間）の予定

研究の対象となる方

2019年1月から2025年5月の間に当院で経験した大腸憩室出血の患者を対象とする。

研究の方法

電子カルテを使用して、匿名情報に加工したデータを使用します。このデータをもとに、当院の治療成績を評価し、さらに対象を高齢者群と非高齢者群に分け、両群の治療成績および安全性を後方視的に検討する。

使用する情報および個人情報の保護

患者さん個人番号（ID）と氏名が含まれていない状態で、電子カルテからデータを抽出します。また研究用パソコンは、インターネットにつなぎません。論文化から10年程度データを保存しますが、その後に適切にデータを破棄します。

研究資金・利益相反について

該当する利益相反はなく、研究資金は日本赤十字社和歌山医療センターから提供されま

す。

研究計画書などの入手・閲覧方法・手続き

研究計画書などは入手閲覧可能です。ご希望される場合は、下記までお問い合わせください。

個人情報の開示にかかる手続きについて

ご自身の情報を閲覧可能です。ご希望される場合は、下記までお問い合わせください。

研究責任者

坂野 利樹 日本赤十字社和歌山医療センター 消化器内科 医師

共同研究者

下山 雅之 消化器内科 医師

岩上 裕吉 消化器内科 副部長

中谷 泰樹 消化器内科 部長

お問い合わせ先

日本赤十字社和歌山医療センター 総務課

電話 073-422-4171 (代表電話)

所在地 〒640-8558 和歌山市小松原通 4-20